

人検知センサーつき  
ダウンライト

LDS6629H

このたびは日立白熱灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この器具は日本照明器具工業会SG I・SG形適合品です。

- マット敷き工法断熱材(住宅用人工鉱物繊維断熱材JIS A 9521のロール状、パット状の断熱材を敷きつめる工法。)で断熱施工された天井に使用することができます。
- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

## 安全上のご注意



### 警告

- このような場所には、取り付けない。(この器具は天井埋め込み専用です。)



禁止

可燃物や電線

可燃物や電線に  
触れる

\* 火災・故障の原因となります。



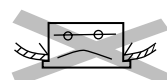
ブローイング工法  
および特殊な断熱  
施工された天井



禁止



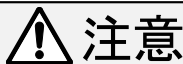
傾斜した天井



器具重量に耐えら  
れないたわむ天井

\* 器具の落下原因となります。

- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。  
\* 取り付けに不備がある場合は、火災・感電の原因となります。
- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。  
\* 火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。  
\* 感電・故障の原因となります。



### 注意

- 定格電圧交流100V以外で使用しない。  
\* 過熱し、火災の原因となります。
- 浴室など湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では、使用しない。  
\* 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- お手入れの際や、電球交換の際は、必ず電源を切る。  
\* 電源を切らないと感電の原因となります。
- 必ず指定の電球を使用する。  
\* 器具の異常過熱の原因となります。
- 点灯時及び消灯直後は、電球が熱くなっているため触らない。  
\* やけどの原因になります。
- 屋外では使用しない。(この器具は、屋内専用です。)  
\* 火災・感電の原因となります。

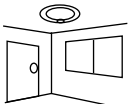
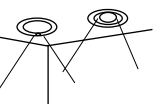
## 仕様

| 形式     | 定格電圧   | 消費電力 | 適合ランプ                         |
|--------|--------|------|-------------------------------|
| 60W×1灯 | 交流100V | 60W  | 100/110V60W形ミニクリプトン電球(口金:E17) |

# 器具を取り付ける前に

■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

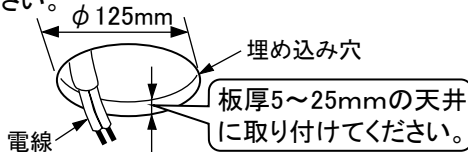
- 器具は検知エリアを考慮し、高さは3m以内に設置してください。
- 検知エリアに障害物がある場所への設置は避けてください。  
\*センサーが動作しない場合があります。
- 暖房器具の付近や、蒸気などがあたる温度変化の多い場所への取り付けは避けてください。  
\*センサーの誤動作の原因となります。
- 季節や使用環境により誤動作が考えられる場合は、別途壁スイッチ等を設置してください。
- 点滅の激しい場所でのご使用は電球の短寿命となりますので避けてください。
- 次のような場所には、取り付けない。(誤動作したり、動作しない場合があります。)

|                                                                                        |                                                                                                       |                                                                                                         |                                                                                                          |                                                                                                               |                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>禁止 | 取り付け高さが3m以上になる場所<br> | 大理石などの反射の強い床面がある場所<br> | 風でゆれるカーテンや植物などがある場所<br> | エアコンの吹き出し口近く。吹き出し口に向する場所<br> | 他の光源に近い場所(40cm以内)<br> |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 電気工事店(有資格者)のかたへ...

■取り付け工事をされる方へ...取り付け工事が終わりましたら、この説明書はお客様にお渡しください。

- 器具重量に耐えられる天井に埋め込み穴をあけてください。



柔らかい天井またはたわみやすい天井には必ず補強してください。



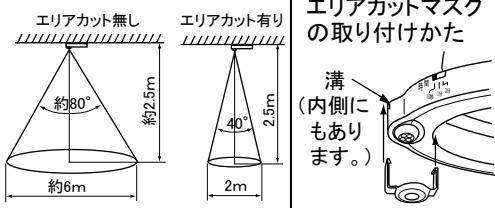
## 各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略略象化した共通図です。

- 下図を参照して各部品をお確かめください。

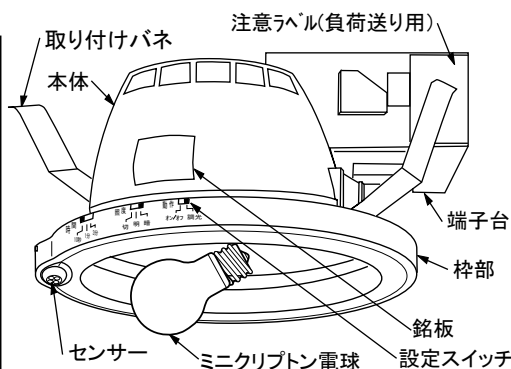
- 検知エリアを狭くする場合は付属のエアアカットマスクをお使いください。

- ・検知範囲は室温・服装・人の移動速度などにより多少変化します。
- ・取り付け高さが高くなると、検知範囲が広がります。



\*照度センサー機能を切り、人検知センサー機能のみでの使用が出来ます。

(注意) ペット等小動物でも検知することがあります。



付属品



エアアカットマスク (検知エリアを狭くする場合に使います。)

# 器具の取り付けかた

取り付けの際は、必ず電源を切ってください。

1. 電線に付属の保護チューブをかぶせ端子台に接続してください。適合電線は、単線φ1.6、φ2.0専用

●電線ははずす場合  
解除ボタンをマイナス  
ドライバーで強く押し  
ながら電線を引き抜  
いてください。



必ず守る

器具本体に電線  
を接触させない。  
\*火災・感電の原因  
となります。

●LDS6629Hを送りで増設しないでください。  
\*故障の原因となります。

2. 本体の取り付け

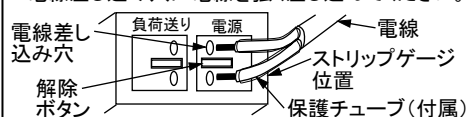
① 本体の取り付けバネを縮め端子台側から天井の埋め込み穴に入れてください。



●本体ははずす場合は枠部をつまみ強く引き下げ(端子台取り付け部が天井裏に当たり斜めになります。)、取り付けバネを縮めながら埋め込み穴より取り出してください。

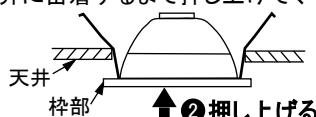
3. ソケットに電球を取り付けてください。取り付け後、点灯確認してください。

●ストリップゲージに合わせ電線の被覆をむいて、電線差し込み穴に電線を強く差し込んでください。



●負荷送りは白熱灯ダウンライト器具60Wまでです。  
(送りで接続された器具も連動して動作します。)  
\*電線には付属の保護チューブをかぶせてください。

② 枠部を天井に密着するまで押し上げてください。



## ■センサー機能について

壁スイッチ「ON」で一旦照明が100%点灯後、自動的に待機モードに切り替わりします。

●動作設定スイッチ



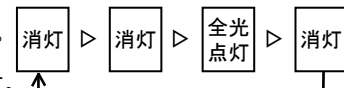
待機モード中の点灯状態を設定できます。  
\*出荷時は「オン/オフ」に設定してあります。

オン/オフ スイッチ

オン/オフ モード(消灯⇄全光点灯)

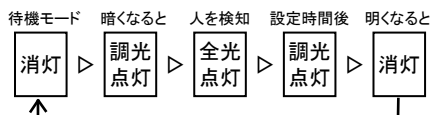
待機モード 暗い時 人を検知 設定時間後

- 周囲が暗くなり、検知エリア内に入りますと自動的に全光点灯します。
- ・検知エリア内で人が動いている間は、連続点灯します。
- ・検知エリアから人が離れたり、静止しますと設定時間後に消灯します。
- 周囲が設定より明るいときは点灯しません。



調光 スイッチ

- 周囲が暗くなると、自動的に調光モードになり点灯します。
- 検知エリア内に人が入りますと、全光点灯となります。
- ・検知エリア内で人が動いている間は、全光連続点灯します。
- ・検知エリアから人が離れたり、静止しますと設定時間後に調光点灯に戻ります。
- 周囲が設定照度より明るくなりますと、消灯します。



●点灯照度設定スイッチ



センサーが感知する周囲の明るさを調整します。  
\*出荷時は「切」に設定してあります。

検知エリアの確認のしかた



「切」スイッチで人感センサーの検知エリアを調整、確認できます。

1. 照度スイッチを「切」に合わせてください。
  2. 動作設定スイッチを「オン/オフ」に合わせてください。
  3. 電源(壁スイッチ)を入れてください。
- 周囲の明るさ・動作設定に関係なく人を感知すると点灯し、感知しなくなってから設定時間後に消灯します。  
\*全光点灯時間設定スイッチを「10秒」に設定しておくことをおすすめします。

「暗」スイッチ

●暗い照度(約15ルクス)で点灯します。

「明」スイッチ

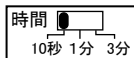
●明るい照度(約45ルクス)で点灯します。

「切」スイッチ

●周囲が明るい時でも、人を検知するたびに全光点灯します。



●全光点灯時間設定スイッチ(「10秒」「1分」「3分」の3段階に調整できます。)

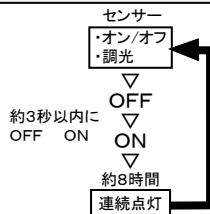


検知エリアから、人が離れたり静止した後の点灯時間を設定できます。

●出荷時は「10秒」に設定してあります。

■連続点灯について

- 壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人体検知に関係なく器具を点灯させることができます。
- 壁スイッチをOFFにしてから約3秒以内にONにすると連続点灯状態になります。連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサーモード点灯にもどります。
- 連続点灯状態の時に、壁スイッチをOFFにしてから約5秒以上してからONにするとセンサーモード点灯状態になります。
- 連続点灯中に壁スイッチ操作(約3秒以内にOFF→ON)を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯になります。



■スイッチの組み合わせ

1. 明るさに関係なく人を感知すると全光点灯。(消灯⇄点灯)
2. 調光点灯で待機。明るさに関係なく人を感知すると全光点灯。
3. 照度約45ルクスで人を感知すると全光点灯。(消灯⇄点灯)
4. 照度約45ルクスで調光点灯。人を感知すると全光点灯。
5. 照度約15ルクスで人を感知すると全光点灯。(消灯⇄点灯)
6. 照度約15ルクスで調光点灯。人を感知すると全光点灯。

|            |   | 動作スイッチ |    |
|------------|---|--------|----|
|            |   | オン/オフ  | 調光 |
| 照度<br>スイッチ | 切 | 1      | 2  |
|            | 明 | 3      | 4  |
|            | 暗 | 5      | 6  |

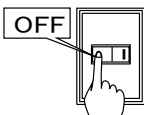
保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、電球の交換の際は、必ず電源を切る。



必ず守る

\*電源を切らないと感電の原因となります。



■器具のお手入れ



必ず守る

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。

●センサーが汚れていると誤動作や動作しない場合があるので、定期的に掃除をする。

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



■点灯時及び消灯直後は、電球が熱くなっているので、触らない。



接触禁止

\* やけどの原因となります。



■必ず指定の電球を使用する。



必ず守る

\* 指定以外の電球を使用すると、器具の異常過熱の原因になります。



アフターサービス

- もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式(器具銘板に表示してあります。)故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

購入店名

ご購入年月日

後日のために記入しておいてください。

サービスを依頼されるときにお役にたちます。

電話

年 月 日

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256